

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都中央区晴海 2-2-42 パークタワー晴海 1 階
園名	小学館アカデミー晴海保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ことば

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

朝の会や帰りの会で経験したことや創造したことを皆の前で発表する活動を楽しみに行っている。ことばを通して友だちとのコミュニケーションが少しずつ活発になってきた。話す言葉だけでなく、自分の気持ちを言葉にする経験や、友だちの話を聞く経験、文字に触れる経験を学年ごと重ねていきたいので、ことばをテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

4月～各クラス8回の実施を予定していたが、転園児が多かったため、開始時期を年度後半にずらし、10月～活動を始め、クラスごとに4～5回活動を行った。

3歳児5名、4歳児15名、5歳児15名

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・記録用スマートフォン ・ひらがなカード ・形容詞カード ・ワーク
- ・タブレット ・ホワイトボード ・DVD デッキ ・DVD

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

● 3 歳児クラス

・ ひらがなを 1 文字ずつ知る活動を行う（DVD の動画を用いて視覚で気付き、声に出して文字を読んでみたり、絵カードを見ながら、保育室内にあるひらがなや友だちの名前などの文字を探してみたりする。）

● 4 歳児クラス

・ ことばたんけん（「オノマトペ」絵カードを見ながら言葉の響きを楽しみ、動きのある言葉を探してみる。）

● 5 歳児クラス

・ 気持ちを表す言葉を知り、言葉を通じて自分の感情を理解し表現する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

● 3 歳児クラス

・ 「な」行や「や」行など、言葉を見つけにくいものは DVD を用いたり、保育者のヒントで友だちの名前の中に入っているのをみつけたり、文字をイメージして言葉を探していた。

● 4 歳児クラス

・ 動きのある言葉の表現を理解した子は、積極的に新しい言葉を考えたり、新しいカードの絵から、色々な言葉の表現を発見したりして友だちと共有していた。そのことから様子を表す言葉に発展し、言葉を保育者がホワイトボードに書く事で、出た言葉には「い」で終わることに気付いていた。（形容詞）

● 5 歳児クラス

・ 文字のついていない場面絵を見てどのようなことを伝えたいのか想像したり、表情のイラストを見てどのような気持ちなのかを考えた。困ったような表情をしている絵の時に、「うまくいかなかったときの顔」と、自分の経験をもとにして違った見方をしている子どもいた。また、泣いている表情から、どうして泣いているのか、どのような言葉を掛けたら良いか考えた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

● 3 歳児クラス

・活動を行った日の帰りの会で、内容の振り返りを行ったことで、言葉に親しみをもつことができた。また、振り返りを行うことで言葉探しが習慣となり、単語だけの表現から会話でのやりとりがスムーズになってきた。

● 4 歳児クラス

・活動は保育士が主導となって進めたが、振り返りの時間を設けたことで子ども自身が感じたことを表現する機会につながった。

● 5 歳児クラス

2人1組となり、気持ちを当てるゲームを行ってから、友だちが困っていることや泣いていることに気が付くと、優しい言葉かけが出来るようになってきた。